



た、その次は「社会」について、最後に「心」の話をしてみました
が、まだ少し残ってしまいましたので今日いくつか話をして締めてみ
たいと思います。

今までに「心の不思議、思い、言葉の創化力」「人生に於ける順
説、逆説」と言う話をしましたが、今日は「事業と自己実現、自己責
任の原則、利自即利他」と「他力と自力」、「プラス思考とマイナス
思考」について話してみたいと思います。

皆様はそれぞれ企業のトップであり、リーダーであるわけですが、
この企業のトップ、リーダーということはもしかすると皆様が考えているよりもっと責任の大き
な事なのではないかと私には思えるのです。何故かと申しますと、皆様それぞれ“あなりたい”
“こうしたい”という思いで自己実現の為一生懸命努力をされている訳です、この自己実現の為の
思いや努力は正しいものであり、結構なことだと思いますが、その努力の過程で多くの人達とかか
わりを持ったり、社員達を指導して自分の思う方向へ引っばって行くわけですから、その影響力は
かなりのものがあり、それに対する責任というものも生じるのではないかと思います。社会に対す
る影響力の大きい人ほどその思いや言葉や行動に対する責任は大きいと言えるのではないでしょ
うか。

つまりこの世は法律に触れない範囲でなら自由に何をやっても良いが、その行為には責任が伴う
という自己責任の原則があるのではないかと思います。私達一人一人が良い思いや言葉や行ないを
すれば世の中は良い方向へ行くでしょうし、その反対をすれば段々と悪くなって行くのではない
か、そしてその責任は自分の“カルマ”となってゆくということです。

良い事も悪い事も過去にした事が“カルマ”となって現在があり、現在している事が未来の“カ
ルマ”となってゆくわけです。

これについては約2500年前、お釈迦様が“カルマの法則”即ち“原因結果の法則”という事を言
っておられます。過去の悪いカルマを消し、未来に良いカルマを残す為には私達は“今”をどう生
きねばならないのか、“生き方”について考えてみていただきたいと思います。

次に“他力と自力”についてですが、私もよく神社やお寺にお参りをします、そしてお札なども
いただいてきて毎日のように拝んでいるわけですが少し疑問があります。どれだけ回数拝んだから
こうしてほしいとかいくらお布施を上げたから願いをかなえてほしいという姿は神仏に見返りを求
めている姿のように思えるわけです。

過去にキリスト教でもローマカトリック教会が免罪符を発行したことがあるそうですが、いくら
布施をしたから極楽に行ける、どれだけ奉仕をしたから天国に行けるという考え方は神仏に見返り
を求めているように思います、実際には協会拡大の為に金集めをしたのではないかと思います。
見返りを求めて拝むのではなく、たった今自分が得ている幸福に感謝する為に拝むのが正しい姿で

はないでしょうか、見返りを求めた時、その人のした行為は価値が0になってしまうとも言われています。

見返りを求めない無償の行為こそが価値があるのではないのでしょうか、誰に知られることも無くとも、自らの感謝の気持ちで行なうことが大切なのではないのでしょうか。日本には古くからピッタリの良い言葉があります、“陰徳を積む” “天の蔵に徳を積む” という言葉です。

次に“プラス思考とマイナス思考”について話してみます。以前にも人間の“思い”にはエネルギーがあり、波動が出ていて、良い思いを抱けば運勢が良くなり、悪い思いを抱けば運勢は悪くなるという話をしましたが、実は私達を取り巻く環境はすべて波動に充たされているのだそうです、鉄や木やすべての物に固有の波動があり、ある意味での“思い”を出しているのだそうです。例えば水などは不思議な性質を持っているそうですが、一つはクラスターという分子団で移動をするそうです、良い水は分子団が小さいので細胞に浸透しやすく、老廃物も良く運搬出来るわけです、更に水には波動の転写能力があるそうですが、良い物に出合えば良い水になり、悪い物に出合えば悪い水になるそうですが、いわゆる銘水と言われる水もクラスターが小さく良い波動を持った水なので体に良いのではないのでしょうか。

このように全ての物には固有の波動があり、色々な波動を出しているわけですが、その中でも最も強い波動を出しているのが、もしかすると人間かも知れません。ですから良い思い、良い言葉、良い波動を出すことが大切であり、悪い思い、悪い波動はなるべく出さないようにしたいものです。

世の中の人々の約1割の人が良い思いを出すようになると101匹めの猿現象といわれる現象、変化が起きるそうです、遠く離れた所にいる猿も突然芋を海水で洗い出すように、全ての生き物は心の奥で繋がっているのだそうです。そして世の中は加速度的に良くなってゆくという事だそうです。色々な事を話しましたが結論を言いますと、“霊的人生観”を持っていたきたいと言う事なのです。

今肉体を持って生きている自分の姿を神仏の目から見たらどのように見えるか、自分達が修業に來た本来の世界、霊的世界から見たら、今の生き方で良いのかどうかという視点を持ち、常に今の生き方が正しいのかを問い続け、あの世とこの世を貫く本当の幸福を探究するという“霊的人生観”を皆様にも持っていたきたいと言うのが私の願いです。

大体丁度良い時間になりました、一年間本当にありがとうございました。

委員会報告：

- ・次年度社会奉仕委員会 7/12(土)「五十嵐川クリーンデー」参加について
- ・次年度親睦活動委員会 次年度活動について

新旧合同理事会

開催日時 平成9年6月17日(火) 11:30~12:30